

伊藤大使のエル・ピノ病院における医療機材引渡式出席について

令和6年11月14日、伊藤大使は、アギレラ保健大臣とともに、サン・ベルナルド区にあるエル・ピノ病院で開催された、日本の無償資金協力事業で供与されたX線撮影装置の引渡式に参加しました。

本事業は、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、保健・医療体制の安定・強化に貢献することを目的として行われたものであり、チリでは、エル・ピノ病院を含む計18の病院に対し、除細動器9台、X線撮影装置10台、CT2台等、総額4.6百万米ドルの医療機材が供与されました。

これらの支援が、本病院を含むチリの各地域における医療システムの強化につながり、多くの市民の健康と生命を守ることに貢献するとともに、供与された機材がチリ国民の方々にとって日本からの友好のシンボルとなり、皆様が更に日本を身近に感じ、両国の良好な関係が一層深まることを心から期待しています。



供与機材の視察



テープカット



供与したX線撮影装置



引渡式の様子



病院長挨拶



大使挨拶



マイポ県長官挨拶



保健大臣挨拶



関係者による記念写真